

2015年
7月号

No.173



びーのびーの通信



6月15日(月)、港北公会堂ホールにて、NPO 法人びーのびーの第15回定期総会を開催、すべての議案が承認され、終了しましたことをご報告いたします。節目の年となった本年、総会後の第二部では、日頃よりたいへんお世話になってきた関係者の皆さまをお迎えしての「感謝のつどい」を開催、法人立ち上げ当時から知る方々も多く、当時のエピソードや、励ましの言葉など温かいメッセージをいただきました。スタッフ一同深く感謝するとともに、気持ちを新たにいたしました。

(事業報告等の詳細は、差込別紙をご覧ください)



感謝のつどい後半は、平井誠二先生(大倉精神文化研究所)、入江勝通先生(心のバリアフリーを考える大倉山・市民の会)、武藤啓司先生(NPO 法人橋の木学園・NPO 法人リロード)にご登壇いただき、乳幼児期から青少年期を見すえて子どもが育つ地域を醸成していくことや、子どもを中心につなげていく子縁社会の可能性、子育て支援活動が「地域の財産」として存在していく重要性など、

びーのびーへのエールを含め将来に向けての示唆をいただきました。ありがとうございます。

本年4月よりスタートした子ども・子育て支援新制度。昨年度は、スタッフも情報の共有、研修を重ね、国、横浜市、港北区と連携しながら啓発・普及に努めました。企画室では、幼稚園・保育園ガイド制作の中で、特に子育て家庭にわかりやすく、また最新情報を盛り込むべく編集に注力しました。地域子育て支援拠点どろっぴは、本年度区内に連携して運営する拠点サテライト(仮称)を設置することが決定しています。さらにどろっぴには、新制度下で新たに実施される「利用者支援事業」が導入される予定となっており、個別相談や子育てしやすい地域づくりを目指し地域連携、関係機関との連携等を深めていく予定です。

「15周年 これからも日々進化し続けたいと思っています！」

NPO 法人びーのびーの 奥山千鶴子

さて、法人の活動としては、昨年度は自主事業の預かり保育まんまーるの移転(大倉山駅近く)、港北区地域子育て支援拠点どろっぴの次期3期5年の決定、小規模保育事業ちいさなたね保育園の開設準備などに尽力しました。各事業ともに、より質の向上や利用者、地域との連携を深められるよう人材育成、研修等にも力をいれてきました。

私たちは、あやこの広場びーのびーの、港北区地域子育て支援拠点どろっぴ、預かり保育まんまーる、小規模保育事業ちいさなたね保育園、港北区社会福祉協議会委託事業ココマップ等子育て情報提供、トレッサや子育てタクシー等企業との連携を含め、各事業の特長を活かし、スタッフはスキルアップを図り、有機的に補完しあいながら、親子の心に寄り添う事業展開をしていきたいと思っております。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



ひろばの風景

ある日赤ちゃんを抱っこしたお母さんがちょっとドキドキした

顔をしてひろばのドアを開けてくれました。「どうぞ、初めまして～、今日はゆっくり遊んで行ってください」そう私が言うちょっと緊張した顔が笑顔になりました。「何ヶ月ですか？」とお尋ね

すると「6ヶ月です。」とまだまだ慣れない手つきのお母さんが抱っこひもからそっと赤ちゃんを下ろしました。赤ちゃんはとっても笑顔が可愛く足をバタバタ強く動かす男の子でした。その親子はゆっくり1日ひろばで遊んで行ってくれました。帰るときには「また遊びに来ますね。」と少しリフレッシュできたのか足取り軽やかに帰って行かれました。

数日後その親子がひろばに遊びに来てくれました。今日もニコニコ笑顔が可愛いMくん。Mくんの成長を私もそっと見守りたいです。

(スタッフU)



☆☆☆ 幼稚園ってどんな感じ？ ☆☆☆

5月21日(木) 菊名ひろばで、座談会「幼稚園の生活について～先輩ママに聞いてみよう～」を行いました。幼稚園に通わせているママさんと未就園児の親子10組が参加して、幼稚園について情報交換をしました。

●2年保育、3年保育で迷っている。

- ・幼稚園に行かないことで友だちがいなくなる不安があり、3年にした。
- ・3年にして子どもが行って楽しかったと思う子もいれば、1年泣き通しの子もいる。子どもによって違う。
- ・2年でもびーのびーので1年遊んですごした。それは子どもにとってとてもよかった。
- ・園によってその年に2年保育がなかったところもあったので園に確認をした方がよい。

●幼稚園の延長を利用すると働けるの？

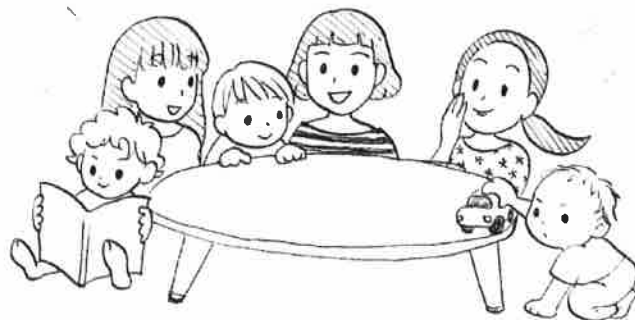
- ・長期休みで預かりをやっていない園もあるので調べたほうがよい。

●保育園と幼稚園迷っている。

- ・保育園が入れなくなると幼稚園も受けておかないと入れないので、両方見学に行って用意しておかなくてはならない。

●幼稚園選び

- ・園選びの判断材料はいろいろある。毎日の事なので親子が楽しく通えるように。子どものためにすべて無理することもない。親がつらいと子どもも様子を察知する。
- ・園児の様子、先生の様子を自分の目で見る。幼稚園と自分の子があうかわらないか。直感で！
- ・バスの時間を気にするより、徒歩で行くと時間の配分が子どもに合わせてできるのでよかった。
- ・バスはやっぱりラク。園によって毎年バスの停車するルートが違うので聞いた方がよい。



～先輩ママから～

- ・幼稚園見学は1人でなくお母さん同士誘ってみんなでいくと構えなくて(気持ち的に少し楽)よい。数園見学に行く人が多い。各園工夫しているところや考え方(園長先生、先生)が違うので、ぜひ見学に行ってみて感じる事が大切。
- ・びーのびーの発行の幼稚園保育園ガイドがあるので、ぜひ参考にしてほしい。

下の娘が4月から小学生になり、幼稚園話が薄く感じられました。昔から変わらない悩みや前は諦めていた保育園という選択肢が増えたことでの新しい悩みもありました。幼稚園に通わせているお母さんから話を聞くと最新情報が得られ、とても参考にいたしますよ。ひろばには先輩ママもいますので、ぜひ遊びに来てくださいね。(取材:今井)



★今月の休館は十五日(水)の午前です。

月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7	8 赤ちゃんタイム 9:30~12:30	9	10 防災考える会 10:30~
13	14	15 12:00開館	16 ベビーマッサージ 10:30~	17
20 海の日	21	22 子育て相談日 13:30~	23	24
27	28	29	30	31

7月

「きをつけて1」作：五味太郎 童心社

大きなトラックをさっそうとぬく小さなトラック。
 そんな小さなトラックを「きをつけて」という言葉で案じる大きなトラック。
 ときに離れて見守り、ときに背中を押したり。
 2台の車が自分と我が子のように思えてくる絵本です。
 「きをつけて」シリーズ3部作の第1作、あとの2作ではひこうき、ふねが登場しますよ。
 (スタッフY)



- ◆ **赤ちゃんタイム** 8日(水)9:30~12:30
月に1度の赤ちゃんタイムです。年齢の制限はありません。0歳児の親子のご利用を優先させていただきます。
- ◆ **防災を考える会** 10日(金)10:30~
子どもがいる家庭の防災について考えてみませんか?ハザードマップを確認します。
- ◆ **ベビーマッサージ** 16日(木)10:30~
鍼灸師の小林規智子先生によるオイルを使わないマッサージです。ママも赤ちゃんもゆったり気分になりますよ。要:予約8組 参加費:一般500円、会員200円
- ◆ **子育て相談日** 22日(水)13:30~
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配なことを一緒に考えてくださいます。
- ★ 一般参加の場合ひろば利用料として500円 別途いただきます。
- ★ 今月は8・22(水)と16日(木)午前に助産師がいます。お気軽にご相談を。

おやこの広場 びーのびーの ひろば利用案内

★横浜市補助事業「親と子のつどいの広場事業」
 ★主に0~3歳で未就学の子どもとその保護者が対象です。(ひろば見学は初回のみ無料)
 ★きょうだい同時でひろば利用される場合、2人目以降半額。
 (3人同時利用の場合3人目は無料)6ヶ月未満は無料。
 ★ひろば利用料はびーのびーの運営、維持費として活用させていただきます。
 ★ひろばでの一時預かり…月~金の10:00~15:30
 対象:6か月~3歳以下のびーのびーの会員(ひろば利用概ね5回以上)
 ※4歳以上の未就学児に関しましては、個別に相談ください。
 一時預かり登録料500円、1時間500円、最長4時間まで。
 その他詳細についてはひろばにお越しの際におたずねください。

- 入会金……………1,000円
- 1回利用料……………300円/回
- 1ヶ月フリーパス…2,100円/月
- マタニティ利用料…200円/回
- ピジター利用料……………500円/回
- 未就学児(年中・年長児に該当)…300円/回

- ※入会金は1家族初回のみ
- 開催日 月・火・水・木・金 9:30~16:00
第3水曜日 12:00~16:00
- 休館日 土曜日・日曜日
祝日・年末年始・特別休館日

びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れる、ほっとできる場所です。



〒222-0021 横浜市港北区篠原北1-2-18
 TEL: 045-439-7447 FAX: 045-439-7448



朝方から降り続いた雨がちょうど上がったある日、
 長ぐつをはいて近所をお散歩しました。
 道には水たまりが所々にあり、子どもたちはピチャピチャ！ジャブジャブ！
 はじめは少し怖がって眺めていた子も、徐々に水たまりの中へ・・・。
 最後は、長ぐつの中にも水が入ってしまうくらい楽しんでいました。
 お散歩の途中、細い路地のコンクリート塀にたくさんのカタツムリを発見！
 つのを指でツツツと触ってみる子、
 手のひらにのせてほしい！という子、
 小さな手に何匹もつかんでやさしく握りしめる子。
 子どもたちは、はじめて見るカタツムリに興味津々☆
 この時期ならではの楽しさを
 味わうことができた一日でした。 (スタッフ T)

★まんまーるのグループ保育の空き状況です。
 月：5名 火：0名 水5名 木：0名 金：1名
 ご興味のある方は、びーのびーの事務局
 (540-7422) までお問い合わせください。



【びーのびーの預かり保育】
 大倉山で入園前のお子さん対象の
 グループ保育を行っています。

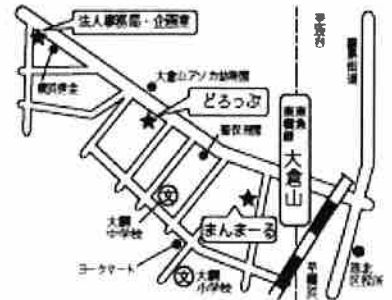
対象 おおむね2・3歳のお子さん
 定員 各コース8名
 コース ①週1コース(火・水・木・金)
 年40回、12,000円/月
 ②月2コース(月)
 年24回、7,200円/月
 時間 9:30~13:00 お弁当持参
 場所 港北区大倉山3-3-3-205
 登録料 3,000円(保険料含)
 ※一時預かり、延長保育も行っていきます。
 問合せ先 びーのびーの事務局
 ☎045-540-7422

びーのびーのスタッフが、その日の様子

港北区地域子育て支援拠点 どんっぶ
 港北区地域子育て支援拠点委託事業(2006年3月開設)
 横浜子育てサポートシステム港北区支部事務局併設
 開館：火曜～土曜 9:30～16:00
 休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始・特別休館日
 登録料・利用料：無料
 〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3
 TEL：045-540-7420 FAX：045-540-7421
 URL：http://www.kohoku-drop.com/

横浜子育てサポートシステム
 専用ダイヤル
 TEL：045-547-6422
 ※月曜～土曜 9:00～17:00

アクセス：東急東横線大倉山駅徒歩10分
 または市営バス6・41系統「観音前」
 下車すぐ



小規模保育事業 ちいさなたね保育園

平成27年4月開園 定員：19名
 開所時間：平日：7:30～18:30 土曜：7:30～15:30
 横浜市港北区師岡町824 第一ネッキビル1階
 子育て関連情報誌の編集・制作・企画※
 幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)、他情報誌の発行
 ウェブサイトの編集・制作・運営※
 港北区社会福祉協議会委託事業 子育て情報サイト 港北区子育て
 応援マップ「ココマップ」の運営管理

トレッサ横浜ブログ制作※

(株)トヨタオートモールクリエイティブ業務委託事業 トレッサ横浜
 HP内「とれおんパーク」の記事を子育て世代の視点から制作
 子育てタクシーサービス推進※
 サンタクシー(株)との協働事業 地域の情報提供、利用者対応、
 研修協力などのコンサルティング業務
 事務請負※
 子どもと保育総合研究所の事務局業務
 ※はびーのびーの企画室が担当しています

編集後記

今月、近所のたこ焼き屋さんが閉店する。びーのびーのバザー
 で人気メニュー、笑顔のおじさんがいつもひろばに届けてくれ
 た。道行く子どもたちを気にかけて、見守ってくれるお店だった。
 たこ焼きが食べられなくなるのはさみしい、と小らの娘は言う。
 失うものはそれだけではないことに気づくだろうか。(よ)

びーのびーの通信

No. 173

発行元 NPO法人びーのびー 発行人 奥山千鶴子
 <編集>今井幸子 白瀧宏子 高橋直子 戸松綾子
 原美紀 牧谷泰子 米本真貴子 萩原紘子
 <イラスト>山田弘美 河合千晴 牧谷泰子 萩原紘子

小規模保育事業

平成27年4月開園
 定員19名の保育園です

ちいさなたね保育園

保育士募集 しています

- ◇常勤保育士
7:30～18:30 (シフト制)
- ◇非常勤保育士
週3日以上・2時間以上
7:30～18:30 (シフト制)
★16:30～18:30の勤務可能な方大歓迎

※常勤・非常勤共に保育士資格をお持ちの方に限ります
 ※土曜勤務あります
 ※勤務地：港北区師岡町824 第一ネッキビル

【問い合わせ】
 NPO法人びーのびーの事務局 TEL：045-540-7422



伝言板

加藤農園 おやさいクイズ！！

- Q：次の名前は何の野菜の品種でしょう？
- 1・はるか
 - 2・オレンジハーモニー
 - 3・味風香(あじふうか)

7月末までの期間限定で火・木・土曜日に直売をして
 います。当日朝9～12時まで電話で予約を承ります。
 夕方16～18時の間に取りにいらしてください。
 詳細は045-481-0437へお問い合わせください。

加藤農園

横浜市神奈川区片倉3-3-15
 (市営地下鉄『片倉町』駅1番出口すぐ上)

TEL: 045-481-0437

